

かねがさき 社福だより



第254号 2022年
5月19日発行

主な内容	P1	新年度の挨拶
	P2	令和4年度事業計画
	P3	令和4年度予算
	P4	社協会費納入のお願い 主な社会福祉活動事業
	P5	輝き人
	P6	事業所紹介
	P7	金ケ崎町社会福祉協議会組織図
	P8	寄付の報告 生活福祉資金のご案内 くらし・安心応援室のご案内

ポーズも可愛い学童の新しいお友達

新年度になり、各学童に新1年生のみなさんが入所しました。それぞれの学童で元気に活動してくれている新入生のみなさん。学童職員も、みなさんからパワーをもらいながら、安全に楽しく放課後の時間を過ごせるように見守っています。



三ヶ尻学童



北部学童



西学童



永岡学童



金ケ崎学童

新年度の挨拶



互助が福祉の基本

金ケ崎町社会福祉協議会 会長 高橋 範夫

令和4年度は、第3期金ケ崎町地域福祉活動計画の実践2年目になります。前年度は不本意ながらコロナの感染拡大防止の観点から各種事業を中止するなど十分な活動ができかね、福祉サービスの低下を招いた事に心苦しく思っています。本年度も未だコロナの収束が見通せない状況下にあります。コロナ禍といえども事業の停滞を招かないよう創意工夫し、一律に事業中止することのないよう対応するなど、福祉サービスを待ち望んでいる方々の期待に応えて参りたいと思います。

さて、社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核的団体として「誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりを推進する」ことを使命としています。使命とは達成することにあります。高齢化の進展とともに福祉サービスのニーズも更に多種多様なものになり、今後、当社協が全てのニーズに対応していく事は極めて困難であると思っています。

私は、福祉のまちづくりは、地域の互助にかかっていると思っています。繰り返しになりますが、地域の隅々まで行き渡った住民の安心感は互助にあり、高齢者のゴミ出し、電球交換、見守り等々、地域課題に如何にして対応していくかを考えたとき、支え、支え合う互助の発揮にかかっているといっても過言ではないと思います。社協としても福祉のまちづくりの一環として、ボランティア各位の協力を得ながら雪かき、買い物支援バスの運行、弁当の宅配等実施していますが、本年度は更にパワーアップして、一人暮らしの見守りネットワークの構築検討、更には支え合いマップの作成支援に傾注していく計画としています。それぞれの地域におかれましても課題を整理し、互助を活かした地域づくりに積極的に取り組まれますようご期待します。

令和4年度金ヶ崎町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

社会福祉協議会は、多様な福祉ニーズに応えるべく各種地域福祉事業をはじめ、介護事業や障がい福祉事業など幅広く事業を展開します。

新型コロナウイルスへの収束が見通せない状況が続いておりますが、感染防止を図りながら、第3期金ヶ崎町地域福祉活動計画に基づき事業を推進します。

重点事業

1. 地域福祉事業の推進

「ゆいっこハウス」や「青い鳥のつどい」などの事業のほか、配食サービスや雪かきボランティア活動、買い物支援バスなどについては、新型コロナウイルスの感染防止を図りながら事業内容、規模等を工夫して進めます。

また、みんなの居場所「はっぴいぶれいすかねがさき」（子ども食堂）も好評につき、感染防止を図りながら重点事業として推進するほか、雪かきや支え合いマップの作成など、地域での支え合いのしくみづくりについても昨年度に引き続き重点的に支援します。



▲ はっぴいぶれいすかねがさき

2. 学童保育事業の推進



子どもの数がやや減少傾向にある中で、学童保育所の利用者は増加しており、本年度も昨年度を上回る利用者数となっています。

学童保育所によっては、人数の関係で多少窮屈な状態にありますが、それぞれの学童保育所の特徴を活かしながら、安全安心を基本に、放課後児童の健全育成に努めます。

◀ 学童保育所

3. 介護事業の推進

2年間にわたる新型コロナウイルスと大雪により介護事業にも影響が出ておりますが、社会福祉協議会が担っている居宅介護支援事業、訪問介護事業、通所介護事業について、サービスの向上を目指して事業の充実を図っていきます。

また、介護予防の立場から通所型 A サービス事業の利用者の拡大を図るほか、体操ショッピングバス等についても、新型コロナウイルスの状況を見ながら事業を進めます。



▲ 通所介護事業所 機能訓練

4. 障がい福祉事業の推進

職員の専任体制をとっている相談支援事業所あゆみと障がい者基幹相談支援センターにより、障がい者の相談支援体制の充実を図ります。

放課後等デイサービス事業については、第3クレヨンを休止し、クレヨンと第2クレヨンで業務を行います。本年度は新たに障がい者等日中一時支援事業を導入し、放課後等デイサービス事業と合わせて、きめ細かい対応を図ります。

また、ワークステーションかねがさきにおいては、生活介護と就労継続支援B型事業を実施していますが、工賃支給方法の見直しにより就労意欲の向上につなげます。



▲ ワークステーション作業

5. 福祉センター施設の建て替え

昭和47年建設の福祉センターは、今年で建設から50年を迎え、老朽化が進んでいるため、昨年度までの検討結果を踏まえながら建て替えの具体化に向けて取り組みます。現在地が町有地となっているため、土地利用や施設機能をはじめ財源対応について町と協議しながら進めます。

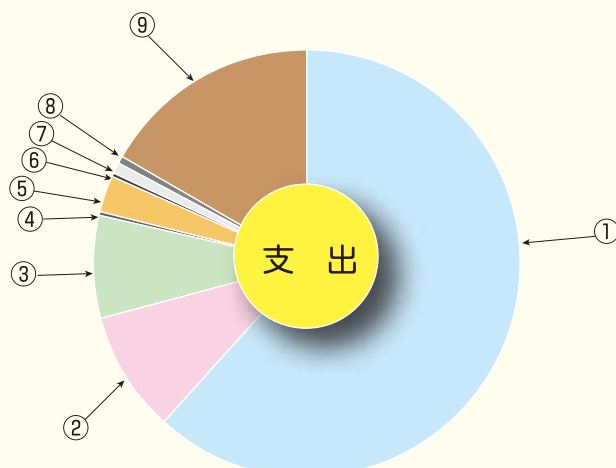
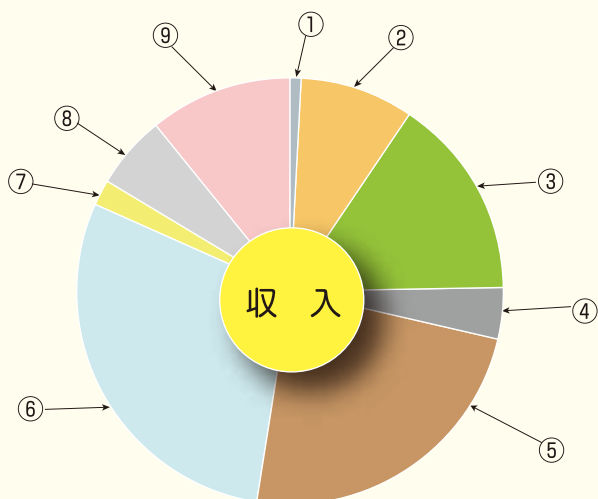


▲ 金ヶ崎町福祉センター

令和4年度一般会計資金収支予算内訳表

収入項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①会費収入	4,352	1.0
②助成金等収入	36,371	8.6
③経常経費補助金収入	64,462	15.2
④受託金収入	17,168	4.0
⑤介護保険事業収入	100,500	23.7
⑥障害福祉サービス等事業収入	124,730	29.4
⑦就労支援事業収入	8,245	1.9
⑧積立資産取崩収入	24,000	5.6
⑨前期末支払資金残高	45,056	10.6
合計	424,884	100.0

支出項目	予算額 (単位：千円)	割合 (%)
①人件費支出	262,478	61.8
②事業費支出	39,452	9.3
③事務費支出	32,856	7.7
④貸付金支出	300	0.1
⑤就労支援事業支出	12,445	2.9
⑥助成金支出	1,110	0.3
⑦積立資産支出	2,915	0.7
⑧予備費支出	3,100	0.7
⑨当期末支払資金残高	70,228	16.5
合計	424,884	100.0





社会福祉協議会会費納入にご協力ください。

町民の皆さまから納入いただく会費が、事業の大きな原動力となり、令和4年度事業計画を実施するための重要財源として用いられます。地域福祉向上のため、趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

金ヶ崎町社協の会費一般会費

- 一般会費 1世帯1,000円 (町内全世帯)
*社会福祉活動推進員(自治会長)を通じて納入いただいております。
- 特別会費 2,000円 (事業所・施設・関係機関団体等)
- 賛助会費 1,000円 (本会役員その他個人)

令和3年度社協会費実績

一般会費	3,873,000円
特別会費	473,000円
賛助会費	12,000円
合計	4,358,000円

～ご協力いただきました会費を活用し 主に以下のような事業を行います～

主な社会福祉活動事業



100歳記念事業



金婚を祝う会



はっぴいふれいすかねがさき



近所支え合い事業



オレンジカフェ



ふれあい相談



配食サービス



ボランティアスクール



スノーバスターズ

令和4年度の事業運営方針及び事業計画の詳細については、金ヶ崎町社会福祉協議会のホームページに掲載しております。



～ 仲間を作り、人を認め、人を排除しない～

子どもの居場所づくりに取り組む北上市の NPO 法人わらすばは、2 月から「わらすば金ヶ崎スクール」を開校し、胆江地区の小中高生に学びの場を提供しています。学校や自宅ではない第三の居場所にして欲しいとの願いから開設した同校は、フリースクールと通信制高校サポート校を担う他、子育て相談や夕食弁当の配布なども行い、子育て全ての面での支援を目的に運営しています。

代表の大内玲子さんは、「子ども達の笑顔が活動の原動力です。子育てをしている皆さんを応援するために、今後も事業を充実させていきたいです。」と力強く語ります。

同校は、城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区内の空き家を活用して開所しており、子どもに限らず、どなたでも気軽にお立ち寄りいただけるとのことです。



大内玲子理事長



わらすば金ヶ崎スクールの勉強風景

～
ぜひお立ち寄り
ください～

ゆいっこハウス新規会員募集



各地区ゆいっこハウスでは、新規会員の皆さまを募集しています。

ご興味のある方は、各地区ゆいっこハウス担当者または社会福祉協議会までご連絡ください。(社協 44-6060)

【ゆいっこハウス事業って?】

元気高齢者づくりや介護予防、在宅高齢者の生きがいづくりを目的として、各地区でサロン活動や温泉旅行、健康教室などを行っていただく事業です。

昨年度、町内では 31 団体が活動し、延べ 3,800 人の皆さまにご参加いただきました。



下永沢地区ゆいっこハウス

指定訪問介護事業所

こんな事を
しています



あいさつ

管理者 三田章代

当事業所では、ご利用様はもちろん、ご家族様の負担を少しでも軽くするため、介護サービスの利用方法から普段の介護方法まで、親身になってアドバイスをさせて頂いております。

ご自宅での生活を安心して送れるよう寄り添った支援を心がけ、きめ細かいサービスと安心のスタッフ体制で支援いたします。



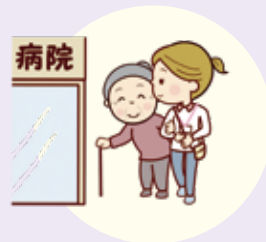
【訪問介護とは】

介護を必要とされる方々が、ご自宅で快適に生活が送れるように、資格を持った介護職員がご自宅へお伺いし、身の回りのお世話や自立支援のためのサービスを提供します。

サービスには介護保険がご利用いただけます。

【どんな事をするの】

- 健康状態の観察
血圧・脈拍・体温・呼吸などの測定や、身体状況の確認
- 日常生活の介護
食事・排泄・清潔保持などの介助
- 日常生活のお手伝い
一般的な調理や洗濯、買い物や薬の受け取りなど
- 自立した生活のための支援
体位交換、寝たきりの予防、介助できる状態での見守り
- 病院の介助等
通院の必要がある場合の付き添い



【どんな人が利用できるの】

金ヶ崎町内にお住まいで、介護の認定を受け、要支援または要介護となった方がご利用いただけます。

ご本人・ご家族のご負担を少しでも軽く！



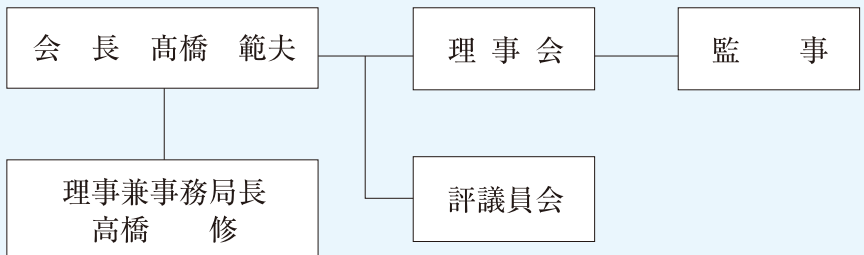
まずはお気軽に
お問い合わせ下さい。

指定訪問介護事業所
TEL 44-5678

金ヶ崎町社会福祉協議会組織機構・職員配置図

令和4年5月10日現在

会長 高橋 範夫
 理事 伊藤 雅章
 理事 菊地 成寿
 理事 高橋 太市
 理事 太田 光子
 理事 久保あや子
 理事 佐々木 章
 理事 佐藤 恭仁
 理事 高橋 修
 監事 伊藤 正徳
 監事 堀 寿正



総務企画・地域福祉課	介護福祉課	障がい福祉課
課長 郡司 彰	課長 高橋オリミ	課長 宮本 運山
<p>【福祉センター建設推進室】 ※課長兼福祉センター建設推進室長 郡司 彰 福祉センター建設推進室員(兼) 高橋 奈歩 福祉センター建設推進室員(兼) 紺野小百合 福祉センター建設推進室員(兼) 鈴木 知里</p> <p>【総務企画係・地域福祉係】 係長兼福祉活動専門員兼会計職員 鈴木 知里 主事兼会計職員 佐々木 護 社会福祉士兼生活支援コーディネーター 吉田 祐子 事務職員 児玉 真実 事務職員 千葉 佳子 事務職員 小澤 夏美 運転手兼用務員 釜石又三郎 運転手兼用務員 高橋 一男 運転手兼用務員 菅野 和彦 清掃員 阿部 稲子 清掃員 釜石 房子</p> <p>【学童保育係】 係長兼金ヶ崎学童リーダー 菅原 真澄 金ヶ崎学童副リーダー 佐藤 文子 金ヶ崎学童児童支援員 高橋美枝子 金ヶ崎学童児童支援員 及川 典子 金ヶ崎学童児童支援補助員 渡邊 郁子 金ヶ崎学童児童支援補助員 小野寺 幸利 金ヶ崎学童児童支援補助員 山口 成実 金ヶ崎学童児童支援補助員 千葉 裕子 金ヶ崎学童児童支援補助員 有住 恵子 金ヶ崎学童児童支援補助員 及川 美香 金ヶ崎学童児童支援補助員 菊地 徳道 金ヶ崎学童児童支援補助員 遠藤きよ子 金ヶ崎学童清掃員 高橋 君江 三ヶ尻学童リーダー 菊地 桂子 三ヶ尻学童副リーダー 今宮 妙子 三ヶ尻学童児童支援員 小田嶋真理子 三ヶ尻学童児童支援補助員 大友真由美 北部学童リーダー 鈴木 里枝 北部学童副リーダー 石川 裕美 北部学童児童支援補助員 松田 妙子 北部学童児童支援補助員 小澤 裕子 北部学童児童支援補助員 巴 信子 北部第2学童副リーダー 福田多貴代 北部第2学童児童支援員 菅原 昭子 西学童リーダー 松川千鶴子 西学童副リーダー 鈴木 直美 西学童児童支援員 木村 圭子 永岡学童リーダー 熊谷 るみ 永岡学童副リーダー 佐藤 穂波 永岡学童児童支援員 小野寺 智子 永岡学童児童支援員 佐藤 芳子</p>	<p>【指定居宅介護支援事業所】 係長兼管理者兼主任介護支援専門員 八重柏知史 主任兼介護支援専門員 高橋 文恵 介護支援専門員 高橋 道枝</p> <p>【指定(介護予防)訪問介護・A型事業所】 【指定障害福祉サービス事業所】 副主任兼管理者兼サービス提供責任者 三田 章代 サービス提供責任者兼介護職員 石川千鶴子 介護職員 後藤 秀子 介護職員 千葉 薫子 介護職員 秋澤千賀子 介護職員 本宮 君枝</p> <p>【指定(介護予防)通所介護・A型事業所】 課長補佐兼管理者兼生活相談員 高橋 奈歩 主任兼生活相談員兼介護職員 小澤ひろみ 理学療法士 佐藤 真純 看護師 畠山 暢子 生活相談員兼介護職員 伊藤 美絵 看護師 高橋 牧子 看護師 坂下 則子 介護職員 小関久美子 介護職員 山本 歌子 介護職員 秋澤 学 介護職員 廣野 聡 介護職員 及川 和江 運転手兼介護補助員 千葉 千昭 清掃員 菊地美江子</p> <p>(兼)は他事業所・他部署との兼務 ※は名簿重複あり</p>	<p>【ワークステーションかねがさき】 課長補佐兼管理者兼サービス管理責任者 紺野小百合 主任兼サービス管理責任者兼生活支援員 及川 裕美 生活支援員兼栄養士兼調理員 小河原由華</p> <p>【就労継続支援B型事業所】 主任兼生活支援員 榊 文章 職業指導員 八重樫 伸 職業指導員兼生活支援員 千葉 博 職業指導員兼生活支援員 阿部 喜一 事務補助兼生活支援員 安倍 百香 生活支援員 石川 祐子</p> <p>【生活介護事業】 生活支援員兼調理員 平尾由紀子 生活支援員 千田 瑞枝 看護師兼生活支援員 板宮勢智子 看護師兼生活支援員 千葉真由美 看護師兼生活支援員 及川富貴子 生活支援員兼調理員 佐々木正文</p> <p>【放課後等デイサービス】 【クレヨン】 係長兼管理者兼日中一時支援管理者 鈴木 清子 児童発達支援管理責任者 忍田 英美 児童指導員 齊藤 治香 児童指導員 朝倉 由美 児童指導員 小澤 仁美 児童指導員 荒井亜希子 指導員 小澤美南子 指導員 阿部 伸理</p> <p>【第2クレヨン】 管理者兼日中一時支援管理者 高橋 ミナ子 児童発達支援管理責任者 小澤 明延 児童指導員 高橋 由香 児童指導員 及川 真弓 児童指導員 菅原 絹子 児童指導員 坂本 有子 児童指導員 菊池 良枝 指導員 菊地 一弘</p> <p>【相談支援事業所あゆみ】 課長補佐兼管理者兼相談支援専門員 佐藤久美子 あゆみ相談支援専門員(兼) 及川 純子 あゆみ相談支援専門員(兼) 吉田 祐子</p> <p>【障がい者基幹相談支援センター】 管理者兼保健師 及川 純子</p>

寄付の報告

令和4年3月1日から4月30日までの受付分

ありがとうございます！
ございます！



○福祉基金

有住みち子様 50,000円
板宮一善様 100,000円
及川和子様 50,000円

○物品寄付

桑島健一様 大根(特大) 13本 社協へ
石川勝賀様 アルコールチェッカー 4台 社協へ
大石商店様 タオル 210枚 各学童・各クレヨンへ
千葉貞子様 寝具等 7点
デイサービス・ワークステーションへ

♥はっぴいぶれいすへ

カリツー東日本(株)様 50,000円

生活福祉資金(緊急小口資金・総合支援資金)特例貸付のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入減少があり生活資金にお困りの方を対象とした緊急小口資金等の特例貸付を実施しています。(受付期間が、令和4年8月末に延長されました。)
お申込みは事前にお電話でお問合せの上、来所いただきますようお願いいたします。

	緊急小口資金特例貸付	総合支援資金特例貸付
貸付対象	新型コロナウイルスの影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯	新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業等により困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
貸付限度額	10万円以内(原則一世帯一回限り。但し、4人以上世帯、学校等の休業等の特例の場合は20万円まで可)	(単身)月15万円以内 [2人以上]月20万円以内 ※貸付上限額は原則3ヶ月分以内
据置期間	令和4年4月以降の受付は令和5年12月末まで	
償還期間	据置期間終了後2年以内	据置期間終了後10年以内
貸付利子	無利子	

相談してみませんか？

暮らしのことを

暮らし・安心応援室は、一人ひとりに寄り添い、様々な悩みごとと一緒に解決していく相談窓口です。
おひとりで悩んでいることがあれば、まずはご相談ください。(ご自宅まで訪問相談可能です。)

相談例

- 生活 (お金も食べ物もない、電気やガスがとめられる)
- お金 (収入が不安定で今後の生活が不安、税金や保険料の支払いができない)
- 就労 (コロナ感染症の影響で失業してどうしたら良いかわからない)
- その他 (学校の給食費が払えない、子どもが引きこもりで今後の心配)



相談・お問合せ先

- ①暮らし安心・応援室(奥州市)に直接相談したい方
⇒社会福祉法人奥州市社会福祉協議会 暮らし・安心応援室
受付時間/月曜～金曜 8:30～17:00 TEL 47-4546, FAX47-4547
E-Mail kurashi-ouen@oshu-shakyo.jp
URL <http://www.oshu-shakyo.jp/kurashi-anshin/>
- ②近くの社会福祉協議会で相談したい方
⇒金ヶ崎町社会福祉協議会 TEL44-6060, FAX44-6106



社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ヶ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106

E-Mail: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.kin-syakyo.jp>



★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

